

ものづくりの裏側

2025.9-10

vol.03



Q UV印刷ってどんな印刷？

印刷機に紫外線ランプが付いており、印刷した面に照射してインキを瞬時に硬化させる方式です。UV印刷機導入前は油性印刷が中心でしたが、現在では効率と仕上がりの良さからUV印刷が主流となっています。



Answer

株式会社マルニ
工務部印刷課
H.T.さん

Q UV印刷のメリットは？



Answer

インキが瞬時に乾くため、従来必要だった乾燥時間を待たずに後加工が可能です。効率良く納期短縮につながり、インキが硬化するので擦れや汚れの心配が少ないのも大きなメリットです。

Q UV印刷に向いているものは？

印刷直後に加工ができるため、短納期の製品に最適です。乾燥用のパウダーを使わないのでパッケージ印刷にも多く用いられ、仕上がりの美しさも評価されています。



Answer

Q 油性印刷とUV印刷の違いは分かる？



Answer

油性印刷はインキが紙に浸透しますが、UV印刷は紙に染み込まずに表面に定着します。絵柄や紙質によっては、鮮やかな色彩や粒状感を感じることがありますが、ほとんど違いは分かりません。



工務部印刷課
H.T. さん (2011年入社)

入社時は2色機を担当していたが、カラー印刷に興味を持ち、4色機、8色機を使いこなすようになる。現在はUV印刷機を主に使用している。印刷技能検定1級取得。

Interview 03

ものづくりの裏側で考えていることは？

印刷品質へのこだわり

私が入社してから一貫して大切にしているのは「品質へのこだわり」です。印刷の仕事は、やればやるほど自分の技能に直結します。難しい分だけ面白さもあり、やりがいも大きい仕事です。トラブルなくスムーズに印刷ができたときの達成感は格別で、仕上がりを見て「うまくいった」と感じられる瞬間が、この仕事の醍醐味です。

品質の良い製品とは、色見本に忠実であること、そしてぱっと見たときに「きれいだ」と感じられることだと思います。逆に、他社の製品で見当がずれていたり、色ムラがあるものを見ると「惜しい」と感じます。印刷機では水とインキのバランスを取ることが重要ですが、これはオペレーターの経験と判断が大きく影響します。その日の環境に合わせて最適な調整を行えるかどうかは腕の見せ所です。

もちろん、トラブルが起きることもあります。そのときは原因を自分で探り、先輩の意見も聞き

ながら改善につなげています。また、印刷を始める前には必ず入念に確認を行います。紙の種類が合っているか、校正と一致しているか、色味に違いがないか。もし間違えたまま印刷すれば、すべてが無駄になってしまうからです。こうした「最初の一步」を大事にすることが、良い製品をつくる基本だと思っています。

紙の魅力とは

私自身、本が好きで紙の魅力を強く感じています。ページをめくるときのワクワク感は、デジタルにはない楽しさです。紙の本は形として手元に残り、記憶にも残りやすいと言われます。スマホは便利ですが、操作に手間を感じることもあります。その点、紙は必要な情報が一目でまとまっていて、すぐに確認できる安心感があります。

印刷の仕事は、こうした「紙ならではの価値」をお客様に届ける仕事でもあります。品質にこだわりながら、手に取ったときに喜ばれる製品をつくり続けたいと思っています。

あなたの「作りたい」をお手伝い！



〔印刷物〕

- 会報・広報誌
- 冊子・パンフレット
- チラシ
- フライヤー
- ポスター
- 名刺・カード
- はがき・圧着はがき
- 封筒
- 伝票・帳票
- 商品券
- 記念誌
- 情報誌
- 偽造防止印刷
- 自費出版

〔各種サービス〕

〔デジタル制作〕

- ウェブサイト
- SNS 広告

〔屋外広告〕

- 看板・サイン
- のぼり・横断幕

- 編集・原稿作成
- 写真撮影
- イラスト作成
- ロゴ作成
- 仕分け・配送
- 宛名印字
- 封入封緘
- アンケート集計

〔ノベルティ〕

- オリジナルメモ帳
- オリジナルノート
- カレンダー
- クリアファイル
- ふせん・シール
- うちわ

〔パッケージ〕

- 紙箱
- 包装紙・紙袋
- ビニールバッグ
- エコバッグ

